



平成28年 8月 4日
国土交通省中部地方整備局
名古屋港湾事務所
三河港湾事務所

お知らせ

6,000人以上が来船！！

日本を代表する多機能船「清龍丸」「白龍」の一般公開 “海フェスタ東三河”

1. 概要

7月16日(土)から31日(日)の16日間、東三河8市町村で開催された「海フェスタ東三河」において、7月23日、24日に名古屋港湾事務所所属の浚渫兼油回収船「清龍丸」、30日、31日に海洋環境整備船「白龍」の公開を行い、子供を含む一般の方延べ6,144名の方に乗船いただきました。

「清龍丸」では、浚渫機能や油回収機能、熊本地震時の支援作業について、パネル展示及び説明を行いました。また、船長室の公開や乗組員の制服を着ての記念撮影も行いました。

「白龍」では、船長席に座っての写真撮影や、航行船舶の安全性の確保と海洋環境保全のため、伊勢湾及び三河湾で作業を行っている浮遊物回収などについての説明及びパネル展示を行いました。

また、見学者の方からは、「船の機能の多さに関心を持った」、「浚渫という言葉は初めて知った」といったご意見を頂きました。

<参考>

「清龍丸」

日時：平成28年7月23日(土)・24日(日) 10:00～15:30

来場者：2,938名

「白龍」

日時：平成28年7月30日(土)・31日(日) 10:00～15:30

来場者：3,206名

2. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、豊橋市政記者会、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

3. 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所 海洋環境・防災課 中野(なかの)

Tel 052-651-6791 Fax 052-651-3801

国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所 総務課 坂井(さかい)

Tel 0532-32-3251 Fax 0532-32-5049



◆7月23日・24日「清龍丸」一般公開の様子



「清龍丸」全景



入港歓迎式典の様子



船内見学の様子



紹介ビデオを見ている様子

◆7月30日・31日「白龍」一般公開の様子



「白龍」全景



入港歓迎式典の様子



視察者の様子

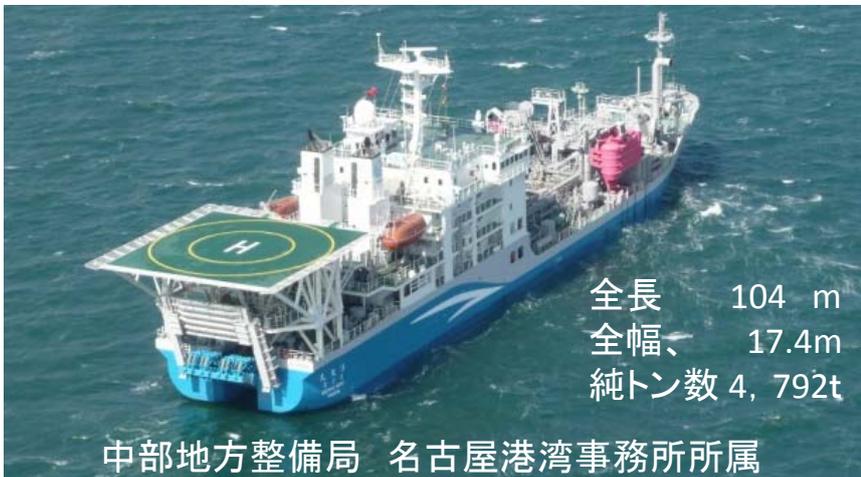


船内見学の様子

浚渫兼油回収船「清龍丸」の概要

「清龍丸」の行う業務

- 通常は、航路、泊地等の浚渫作業。
 - ・高精度で平坦浚渫を可能とする幅広い新型ドラグヘッドを装備。
- 大量油流出時には、速やかに流出現場に向かい、油回収作業。
 - ・油の状況に応じた2種類の回収器を装備。
- 災害時には、災害支援作業(災害情報収集、救援物資輸送、給水、電力供給等)。
 - ・情報収集・発信のための通信システムや防災要員・物資運搬等のためのヘリデッキを装備。



油回収タンクに約1時間で1,000kl (ドラム缶約5千本分)の油水を回収可能。

海洋環境整備船「白龍」の概要

「白龍」の行う業務

- 通常は、伊勢湾・三河湾の海面浮遊ゴミの回収作業
- 油流出時には、速やかに流出現場に向かい油回収作業
- 伊勢湾の環境メカニズム解明のために、水質及び底質の定期的な観測を実施。
- 大規模地震・津波発生時の航路啓開。



担務海域
伊勢湾・三河湾 (1,800km²)



諸元
全長 33.5m
全幅 11.6m
総トン数198t

中部地方整備局 名古屋港湾事務所 所属



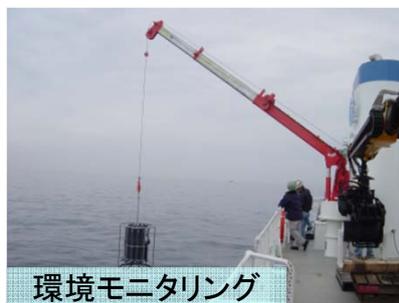
ゴミ回収状況



ゴミ回収状況



油回収装置



環境モニタリング



回収ゴミの陸揚げ

東日本大震災における災害支援(海上漂流物の除去) (平成23年4月23日～5月19日)

○海上物流拠点の仙台塩釜港及び石巻港を有する仙台湾周辺海域において、航行船舶の安全を図るため津波により発生した大量の漂流物を回収。

○漂流物回収量【239.1m³】